

低學年
幼稚園
座談會

日 四月二十三日午後二時より

場所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

出席者

小學校側

堀主事、金成訓導、淺黃訓導、河南訓導、

田原訓導

幼稚園側

倉橋主事、及川・新庄・菊池・徳久・白根・

村上・神原保姆

倉橋 お忙しい所を御迷惑願つて恐れいたします。

今日は、小學校低學年と幼稚園の關係について、連絡問題も入りますが、兩者の間にはさまる問題、或は兩者の共通な問題を伺つて、うまくゆけば議

論を闘はず所迄ゆきたいものです。今一つ、低學年の方からお話も伺ひたいと思ひます。これから何卒よろしく願ひます。

幼稚園から來た子供と

幼稚園を経ずに来た子供

倉橋 理論は別として、幼稚園から來た子供と、

家庭から直ぐの子供とどう違ひますか、取扱上に。

淺黃 幼稚園から來た子供は、最初から先生に憶

せず、學級の相手にも憶せず、伸んびりと心安

く生活出来るようです。幼稚園へ行かない方の子

供は、家庭で、學校へ行つたりおとなしくしてと

か、喧嘩せず、などと教へられすぎてゐるため、

先生や相手を警戒します。その點では生活指導を始めるには幼稚園か 來た子供がいゝですね。

倉橋 從來、今でもありますが、その點を 困るといふ人があります。

淺黃 それはね、形式教育法によつて一年生からさちん／＼やる場合に、幼稚園から來た子供は多少得手勝手だと云ふのでせう。

倉橋 さうですよ、昔は、幼稚園・低學年の圓滑な生活の續きがうまく行かないのでそう云はれたのです。我々は、低學年の指導法が生活でない場合はそれが當り前だと申したい。併し、それにしても、お取扱ひ上、何か困る點はありませんか。すれつからしとか……。

淺黃 此方の幼稚園から來た子供は、自分の學校だといふ氣——自負心でもないでせうが——を持つて居るので、他の子供と一緒に居る時、僕等の學校だといふ意味で遠慮がなさうに見えることもあ

ります。一般の學校では、父兄の方に、幼稚園を経させたことが、自負になつて居るのが自然に子供に感染して態度に出ることもありませう。

倉橋 一種の優越感ですね。此の學校のは特別ですが。

淺黃 前任地の山形では、幼稚園から來た子供は字を知つて居るので、一齊教授をするには困る、それで幼稚園はよくないといふ人がありました。

及川 小學校の方へは幼稚園へ行かぬ子供は一組の中何人くらゐですか。

堀 三月號のあの調べに出しときましたが、第一部は少いが、第二部第三部では五分の一の割ですかなア。

淺黃 父兄の中に、最初は「宅では教育の主義として幼稚園へ上げなかつた」といふ人でも、後には「宅では幼稚園にも上げなかつたので」と、幼稚園に注意する態度になります。

倉橋 多少、幼稚園の効果を認めただのですか。

淺黄 入學して見ると、幼稚園教育を受けた者とは階段があるので、はじめの主義がぐらついて來るわけなんでせう。

倉橋 幼稚園から來た子供の優越感が、實際上には如何に現はれますか。先生に對して現はしたのは無邪氣なものですが、友達に對して威張りますか。

淺黄 多少、威張るらしく見えますが、それがために指導上困るといふことはありません。一諸に校内を廻る時等に、前から知つて居るために飛出したりますことはありますが。

(金成訓導、續いて田原訓導、ちくれて出席)

倉橋 幼稚園からの子供は實力に於て進んで居るといふやうな事はありませんか。

淺黄 さあ、矢張り子供の本質によりますね。いゝんな事に憶せず自分の生活を営むのでよろし

いんですが後になると分りません。

堀 字や唱歌は多く知つて居る。唱歌などは、力以上のものと間違つて知つてゐて甚だ工合が悪いといふ人がありますね。

及川 正確に覺えてゐないんでせう。

倉橋 大きな問題です。

堀 市内の小學校で六十人も一組に入れてある所では、僅かの子供が「それは習つた」といふので先生の出鼻をくぐくらしい。大阪あたりでも問題になつて居るね。

淺黄 そんなのは利用する指導法でゆけばよいと思ひます。知らぬ子供と一諸に先生も教へていたゞませうとその子供に歌はせて見るといふ風に。そして正しく直してやれば……。但しそういう時幼稚園からの子供がどん／＼出て歌つたりするので父兄の間に自然と目立つと見えますね。

倉橋 字や歌は形の上で、より多く持ち合せて居

ることが分るものですが、その外、實力として教育効果が進んでゐるといふ事はありませんかね。

考へる力が進んでゐるとか、感情方面はどうだとか。——こちらの幼稚園のは駄目だといへば、前主事を前にして居るので仰りにくいでせうが。

堀 なーに、保母が悪いんだから構やしない。(笑)

新庄 いゝえどういたしまして、堀先生の御主義どほりしてたんですよ。

淺黄 責任のなすり合か。(笑)

倉橋 幼稚園で先に教育を受けて居るんで困ると一口に言はれて居たのですが、それは字や歌のよう形に出る所です。この外に無形の能力では如何でせう。子供による事でもありませんから總括はむづかしいけれども。

淺黄 私の第三部だけで見ますと一般的に何うといふ事はありませんが。

田原 三度、一年級を受持ちました経験から、發

表する態度と發表を作業に表はす力があるやうです。今一つ、社會性に富んで居ります。作業にしても協同性があります。よその幼稚園よりもこちらのが特にその點で勝れて居ります、それが影響して他の子供が段々協同するようになります。

倉橋 實際上指導者の位置に立ちますか。

田原 家庭や他の幼稚園からの子供は「印象を作業へ」取り掛りにくいのですが、こゝのは印象から直ぐすゝと作業に行けます。

倉橋 話がもとに戻りますが、御取扱の上で、多少歩調が合はないのは困りますが、取扱を離れて、幼稚園を経た爲に子供が悪くなつた——すれつからしになつたとか——つまり、子供の心の深い所に幼稚園が悪いことをして居るといふようなことはありませんか。

字を澤山知つて居るので取扱に困るといふのならば、その子等を集めて別に一かたまりをつくれば

片附く問題ですが、人間が悪くなつた、といふのでは、とても恐るべき問題ですから。

田原 小學校から女學校へ上つた場合に、未だ皆の者が協和しない間は、第一部から行つた子供の慣れた態度に他からの生徒が及びえる事があるさうで御座います。それと同じような事があらうかとも思ひますが、仰せのやうなものは感じません。

倉橋 餘り著しいお心づきもなければ、幼稚園として、責任が安まります。

何しろあの小さな子供ですから、家庭の中で育つて居ると、幾ら自由主義にしても幼稚園に出てゐるとでは相當の無理もあると考へられます。幼稚園が何物かを與へると一諸に、つい作り過ぎる點もありませう。神原さんの園藝と同じく、色の花も小さく咲きませうが、或は野生だつた方がもつといふ物になつたかも知れない。(笑)

(神原註、四月から園藝部主任を拜命、爾來花壇の

經營に腐心精勵、やつと種蒔を終りまして、この秋にはバラック園舎が花で埋まらうといふ所ですが、主事以下同僚の此の不信認に對しては、秋の實績で見えることにして、今は沈黙を守りませう) その無理を一番早く見つけて下さるのは小學校ですから、幼稚園の方では心配してゐるんです。

漢黄 小學校自身でも、その點では無理もあります。父兄のうちには學校に出して悪くなつたと申すのもありますから。

倉橋 併し、小學校は義務で出さなくつちやいけない。が幼児教育には幼稚園より自然な家庭といふものが控へて居るのですから尙心配です。ところで幼稚園へ來た子は神經質になつては居りませんか——人慣れがして居るといふだけなら、まだいゝのですが、氣がつき過ぎたりするようのはありませんか。その邊は金成かねなりさん如何でせう。かなり所でなく相當に強く……(笑)

金成 神經質つて申しますと憂鬱に聞えますが鋭敏といふ風に解しますと、たしかにその傾向が見えますね。

倉橋 先生の顔色や友達の色をよむのが敏い。

つまり神經質がありませうね。私はね、幼稚園からの子供がはじめはクラスの中の相當の位置を占めてゐたのが段々さうでもなくなるといはれる原因を、分解してみるのですが、優越感だの持ち合せて居る知識が正當に伸ばされてゆかないから次第に下つて來るといふこともありませうが、その外に、神經質のためがありはしないかと思ふのです。學齡前に幼稚園で疲れて居るので、初めは出ないが上級になると衰弱性が出るのではないかといふことです。若し衰弱性があるとするれば、幼稚園で大に考へる必要があります。

堀 此幼稚園はそうではないが、他の幼稚園から來た子供には、發育がよくないから幼稚園に入れ

たといふのがある。親にしても「とてもいゝ子だから入園させる」とは言はない。幼稚園で教へ込んで貰つて小學校で都合よいようにと希つて居る。そういふ場合には、小學校で、幼稚園から來た子は、よくないといはれることになるでせう。

倉橋 ナル程ね。從來餘り言はれない事だが、社會事實としては穿つた話です。

田原 それと反對に、ぼかつとした性質の良い子はこの幼稚園から來た子供です。三年四年になつても良さは變りません。

倉橋 堀さんの話の逆に、この幼稚園へはいゝ子が來てくれるからです。

金成 確かに、六年になつても圓滿なのはこちらの幼稚園の子供です。

倉橋 ほめられますね。

神原 こちらの家庭がいゝからでせう。いゝ家庭で、満ち足りて生活するから、ぼかつとしたいゝ子

になるのだと思ひますわ。

堀 まあその方が多いね。

倉橋 誰の自慢にもならない事さ。(笑)

堀 良い子供を検定して入園させてあるんだね。

及川 前主事の御手柄ですよ。

倉橋 もう一度あからさまに伺ひますが、このまゝではいかんから、幼稚園で何とか注意して貰はんといかんといふ點はありませんか。

堀 三ヶ月くらゐ幼稚園に入れてゐいて幼稚園から來ましたといふのがあるね。

淺黄 入學の準備で、そんなのは大變いぢけて居ります。

堀 それは、幼稚園を幼稚園と解釋しないで入園させたんだ。

小學校で幼稚園を惡るくいふのは一齊教授に、六十人七十人一諸に扱ふ中に、飛び抜けたのが居れば困るからだ。みんなお行儀よく、お手々はひざ

に、といつた式の教育をする時には幼稚園から來た子供は困る。但し幼稚園の中にも、小學校で効果を表はすために教へておくのがある。これは生活本位の幼稚園にあらざる所にある。兎に角、世間には一組六十人七十人詰め込んで、正しい低學年教育の行はれて居ないのだから困る。

倉橋 此處の幼稚園と低學年とは、此の頃の狀態は、全く好都合になつて居ります。われ／＼が昔から希望して居た關係になつて來て居ります。之れは實によろこばしいことです。世間もこういう風にありたいものですね。

文字の問題

倉橋 低學年幼稚園ともに生活本位ならば方針としては矛盾は起らないが、更に實際上、この點は伸ばしてゐてくれ、或は小學校に委してあげるといふ問題はありませんか。たとへば文字ですね。

劃一的に取扱ふ時邪魔になるのは別問題として、
生活的個別扱ひの時は多少知つて居る子があつて
も差支へないと考へられます。しかし從來は幼稚
園では遠慮して居ります。如何取計らひませう。

(こゝちどける)

堀 遠慮して居ないのもあるよ。

新庄 お伺ひしたかつたんですの。

倉橋 私なんか、よその幼稚園の人から此問題を
屢々質問されます。その時には、聞かれる方の多
數は古い小學校を假想しての事でありませうから、
邪魔になるものはよして置いたがいませうと。

つまりバツを合せますが、一體はいろは位は讀め
て、即ち文化を受け取る基礎能力を持つてゐた方
がいくとも思ひますがどうでせう。進んではどの
位の程度にして置いたらいませうか。それを仰
つていたゞきたい——勿論心理能力から離れた問
題ではありませぬ——

淺黄 子どもは何時頃から文字を意識しはじめる
ものであるかといふ研究がまだ足りないと思ひま
すね。文部省の教科書で一年から始めて居ります
が、もつと早くから文字には眼覚めるものと思ひ
ます。片假名くらゐは。書けずとも讀めるように
なつて居れば、——無理に教へこむのでなく自然
の能力で覺えられる——と思ひます。

田原 小學校になつて覺えさせられるより、幼稚
園や家庭でその環境を與へられた者は不自然でな
く覺えます。そうして自然に字を與へて置いて戴
きたいと思ひます。

倉橋 字を得させてゆく方法については、別に充
分研究するとして、少くも都會では、幼稚園の上
の組では片假名は日常實用品です。或は本當の書
き方も知りませぬ。五十音のシステムを知りませ
ん。が實用には消化して行きます。讀みもし、書
き表はして行く能力もあります。

堀 子供に能力があつてやるものとすれば、或程度迄は正しく發音させ、本當の書方をさせる事が必要になる。入學當初の知つて居る字の調査があるから御參考までにお目にかけてませうか。

淺黄 幼稚園では「教へる」のでなく、自然に覺えて行くでせう。

倉橋 コロンビア幼稚園の上級當りではスペルまでやつて居ります。此處で私は考へるのですが、幼稚園の本當の原理が分らぬ人があつたら教育即文字の古い傳統的過誤にわざはひされますから注意しなければなりません。字を以て教育する事は實物に即くよりも易しいから、幼兒教育として大切な實物教育の努力を怠る危険があります。蝶を教へるに代へて「テフ」と字でやるのは易いことですからね。そこで幼稚園が舊式のインファン・ト・クラスのやうになつてしまふと困る。これだけは考慮して置かないといけませんかね。此の考慮を

以て、文字は與へてもよろしいですなア。

新庄 平がなは餘り出て來ませんから片假名だけのことで御座いますね。

堀 五十音全部知らなければといふ事はない。

倉橋 堀さんは發音も正しくといはれたが、これは田原先生の御指導を受けないと六かしいが、(註) 田原訓導は先達で讀本の正しい讀み方の放送をなされたのです) 書く方は棒の様な線でよいでせうか。アメリカの幼稚園では細太なしの棒書でした。

堀 どうせ鉛筆やクレオンの硬筆だからそんな事には注意出來ない。問題にしなくていゝと思ふ。毛筆は低學年でも駄目だといふので二年三年になつてやつて居るくらゐだから。

倉橋 これで安心。我々の字がまづくてすむから。新庄さんなんかは實の持ち腐れになるが。(笑)
堀 ツヤツヤを下からはぬるのは困る。

金成 直すになか／＼困りますの。

田原 私としては餘り窮窟に扱はないで、幼稚園では字に親しんで貰ふ程度にして、幼稚園から一年へかけて完成したいと思ひます。

倉橋 幼稚園の終になると字を使ふ興味がありませんし。

淺黄 ありますね。子供が最初如何にして文字を獲得して行くかに二とほりの型があると思ひます。文字を読むことの興味を持つて自ら進んで文字を読み覚えて行く型の子供と、何でも關はず形を書いてその形に字音をあてゝ覚えてゆくのと、つまり字には形がある、形には音があるといふ意識から書いて覚えていく型のもの、——何でもない形を書いて「これ何といふ字」と聞く。知らないと言ふと、アとかメとか音を添へる。かうして書いて次第に覚えていくのです。

倉橋 そうぞ。

田原 視覚型と運動型と申すのでせうか。

數の問題

倉橋 字と並んで問題なのは「數」です。數は字よりも更に生活にくつ着いて居ります。數學の數は高級の概念ですから別の問題として、小學校の入學檢定で數のことを尋ねられたりするのを素人が聞くと、數をよく教へて置いて呉れといつたりする。入學の準備は幼稚園の重大任務でもありませんから、その爲に考へる必要はありませんが、字よりも自然に發達する筈のものでありながら、字よりも教へる傾向が昔からあります。この邊の問題はどうでせう。

堀 數といふと計算方法と解する人が多いが、數觀念を檢べるのです。實物が五つある。五と認識し五の數詞が結びつく迄になつてゐなければならぬ。八と七とが同じでは困る。百迄數へられると

云つても單に數詞だけでは困る。實物を正しく數

へられるか否か。滿六歳になれば少くも五以下は、

はつきり分つて居なければならぬ。檢定では、

五・八・七と出鱈目のがあり、數へようとしないの

があり、實物を離れて二と二とよせるといくらに

なると聞けば、直ぐ答の出来る子もあり、指二本

を折りまげておいて三・四と數へ足す子もある。ま

た始めから一つ二つ三つ四つと數へたす子供もあ

る。子供の生活本位にしても、數は遊びの中に取

り扱はれねばならない。野蕃人の生活中にも文字

の前に數がある。まあ五以下の數觀念はなけりや

ね。

及川 それ位なら出來てゐます。

金成 一年に入つて來た子供は「十」まで出來ま

す。

倉橋 「十」迄とは如何様にですか。

堀 實物に即いてですよ。檢定の「三に四をよせ

るといくつか」は少しむつかしかったね。

河南 三を元にして一つづゝつぎ足して數へまし

た。

田原 つぎ足して數へるのは自然發達段階にあり

ますか。

堀 ありますよ。

及川 指で數へるのは初めから一本宛折ります。

目では三つぐらゐは一ぺんに分りますけれども。

新庄 さうですね。途中でわからなくなると又初

めから數へなほしますわ。指で。

及川 六つのときに一本指が足りないよ、とても

困る人があります。

堀 足りない所を足指でやつてますよ。(笑)

倉橋 其の習慣は足、手まといですよ。(笑)

田原 頭の後れた子供程數へるに具體の期間が長

いようですね。

及川 指を一本折りまげる間に二度も三度も口が

數へます。

倉橋 我々のそろばんの如し。子供許りのものではない。(笑)

淺黄 指と口の速さが違つて來ますね。

堀 生憎と、十以上になると言葉が長くなるから間に合はなくなつたりさ。

倉橋 一寸理窟つぼくなるけれども、數を教へる時に量と一緒に教へたい。量といふものが人間の經驗の上では數より先ぢやないかと思ふ。岩下さん(註。數學教授の權威者岩下吉衛訓導)につぶされる意見かも知れませんが。

河南 いゝえ、そんな事はありませんよ。

田原 數量觀念と仰つていらつしやいます。

倉橋 私のは量數ですよ。(笑)

淺黄 さうですね、量があつて……。

堀 單位の發達はあそい。發達の順序から云ふと數の方が先ですね。

倉橋 試みに尋ねますよ。子供が字を實用に入

ると表現に使はれ、數が實用に入る時は所有ですね。人間に所有が無かつたら數は非常にのんきなものになつたらうと思ひます。そこで、私の經驗上からは子供は「たんとあくれ」といひます。メニ「が先かマツチが先か。私の經驗では量です。所がその……其處が問題だ、はつきり言へない(笑)

堀 「たんとお呉れ」といふのは量でなく數だ。

倉橋 數で要求するのは文化人だ。

堀 數で多くして更にその上大きいのを欲しが
る(笑)

倉橋 更に慾張り。

堀 新庄さんならば、その上に味の良いものをと
なる。(笑)

數字には單位量が標準になるのだが子供では單位
量が明白になるのはずつと後で先づ自然物で數が
多くといふことですね。どうしても自然數が先づ

發達するものですね。

倉橋 或る物が集つて量をなすのはもつと後で、單位はそれからではないかしら。私などは八百屋で一ついくらの高い蜜柑を買つたことはなく、いつも一山いくらといふ蜜柑を買ふ。量買ひだね。

堀 それは年寄で、子供は一山ではきかぬ、米粒や豆粒は數へにくいから量でいくが。

倉橋 此の問題は又ジャバニス・ソランダイクに教へを乞ふことにして、兎に角……未だ強情を張るが、原理の結論は分らないが、子供は量を離れた數になると抽象數になる。それ故に扱ふ時には實體數を養ふようにしなければならぬ。

堀 量の觀念は必要です。大小・せまいひろい・長い短いの量の觀念は早くから養ふことだ。又量の觀念は早くから出る。そして量の觀念を養ふことは大切でありますが、しかし量を數であらはず教育はあとになることが適當ですね。

唱歌の問題

倉橋 唱歌に移りませう。

堀 小學唱歌を幼稚園でやるや否や、からゆかう。及川 今は、小學校での唱歌の事は考へて居りません。自分たちの好きな物をやつて居りますの。

市内のある幼稚園では小學校唱歌は教へぬようにといはれてやらないそうですが。

堀 「春が來た」などやつてゐるね。

新庄 「春が來た」は幼稚園の方で貰つた方がようございますね。

堀 さうしても差支へないが、普通學校では困ると云ふ。

新庄 幼稚園では却つて知つてくれる方がうたひよくて、二三人も知つた子どもが居りますと、とてもよろしいんですの。

倉橋 幼稚園の唱歌と小學校の唱歌教授とは大變

に違ふ。そこでいろ／＼問題が起るのでせう。たとへば幼稚園でヘンに教へてあると小學校の唱歌教授の時に困りませう。

淺黄 歌ひこなせて居ないのですね。

堀 くせがついて来る。幼稚園では、いゝ氣持になつてればよいといふので。

菊池 幼稚園でも歌ひたいだけで放任しておくでなしに、私は成るべく正確に歌はせようと思つて直します。

堀 そりや、やつぱり出たら目ではいけないね。しかし、むづかしいものを正しく引つけるといふのではいけないから相當したものを選んですることだ。女學唱歌を、小學一二年でヘンにやるより、小學唱歌を適當にやる方がいゝ、と同じ様の事が幼稚園に於ても云ひ得る。こちらの音楽の先生から注文があつたといふわけではないよ。

及川 この幼稚園では唱歌は、そんなによりま

せんから困るような事もありません。

淺黄 僕の方でも大して困つたといふ経験はありません。

堀 稚い弟妹が上の姉をまねて歌ふのは自然であり、自然にむづかしいものを覺えるからよいが、しかし間違つてゐるのは正確に導かんければならない。

倉橋 唱歌に限らず教育者の位置にある以上は、誤りを平氣な筈はなし、訂正する筈、お花見幼稚園ぢやないから、たゞ陽氣に歌つてゐればいゝといふものではない。只、あの幼兒に於て何處迄それが徹底し得るものかね。

堀 小學校の方では發聲法をやかましくいひますが、幼稚園ではギャア／＼どなりさへすればいゝんだと思つてゐる子どもがあるでせう。

新庄 えー／＼。

倉橋 それが悪いと言つたつて、よいと言つたに

しろ、一つは此方の耳ですよ。他人の聲をなほすなほさん所ではありません。先生に音楽の教養があるとなして違ひますが、何にしろあの年齢の子供だから。

新庄 その方が強いでせう。

堀 直すものは直さなけりやいけな。そして子供の聞きまねは利用して。

倉橋 それでは妥協案としてね、歌ふ氣持からいへば、材料はどこから取つてもいゝが折角國の教育が三學年に「春が來た」を當てゝある以上は遠慮した方が隱當でせうかな、遠慮して居て幼稚園の用ふる材料がなくならぬよう、少し宛他から補充して行くと。

堀 小學校でも、檢定を濟ませた唱歌を歌はせる事になるでせう。そんな話が出て居る。幼稚園でも幼稚園に適當した物を選んで行くといふ風に。

倉橋 日本歴史は何年かやるものでせうが童話

の中にはよく出て來てゐても、それを困ると、問題にはならない。唱歌では困るといふ。まあ方針としては小學校唱歌は歌はないことにしませう。

淺黄 幼稚園に適當した歌は少いですね。

堀 作曲も歌の方も子供に分らんのがある、むづかしくて。

淺黄 倉橋先生の顧問でいらつしやるコードモノクニの歌だつてむづかし過ぎますね。

倉橋 作家が力をいれると自づとむづかしくなるんですよ。

淺黄 子供には歌と一諸に踊りのついてゐるものでなくてはホントでないでせう。それで踊りのつきたい、歌を選ぶとなるからなか／＼材料がないのですね。

倉橋 小學校に行つてから正しき音楽教授として、資格ある先生に教へて頂く歌は遠慮した方が妥當で、その方針の下に幼稚園の唱歌を補充する

より仕方がないとしませう。としなければ話がまとまらないね。(笑)

堀 音楽學校で研究してゐた教育音楽はまとまつた？

菊池 あれつきりでございます。小學校の唱歌は出來上つたさうですが。

その他いろいろ

堀 今までの話は大體小學校からの注文といつた風のことでしたが、小學校に對して幼稚園からの注文はありませんか。とかく日本の教育は上から下へと壓迫されて居る。手つとり早く、こゝの小學校に對して思ふことを仰つていたゞき度い。

倉橋 段々あるでせうが、昔からみると結構な世の中になつたですね。

堀 僕は未だ幼稚園と小學校のあいの子だから何方にも言ひにくいですが、子供が小學校に入ると、そ

の子供の觀察をし直すこともよいが、幼稚園での觀察を受けつゞ連絡が必要ぢやないかと思ふ。

及川 小學校では自由遊びをなさいますか。
金成 致します。

及川 先日、小學校の子供がまゐりましてね、小學校では遊ぶ間がないとつまらなさうに申してゐました。

金成 遊ぶ間がないつて——。自由遊びの意味は？

及川 勝手に好きな事をして遊ぶ時間のことです。

倉橋 フリタイムのことです。

金成 それは、決して遊ばさないと云ふのではありませんが、殊更自由にお遊びなさいと申した事はありません。

堀 其處でね、幼稚園の先生も、小學校に入れて仕舞へばやれ安心でなく、時々はのぞいて下さい

よ。小學校の先生もこちらへ尋ねたり、保育を見たり也。

及川 何時も時々拜見に出かけますが今年はまだ拜見致しません。自分の組の子供だと見にまわりませんが。一年生に上げた當座は此方でも新入園兒を受持ちますので忙しくて。

堀 小學校の方で考へると、小學校は幼稚園と違つた考へを持つて居ると。

及川 子供によつては、いろんな事をするので小學校は面白いとも言ひます。

新庄 子供によりますわね。幼稚園でも遊ぶより仕事ばつかりしたがる子供があります。

倉橋 一般問題になります、昔の課業主義では四十五分のあと幾分かは休息になつて區切がついてゐた。課業の時は生活から離れると思ふから休息の時間を充分自由に遊ばせる。ところが、生活主義のプリンシプルに基いてやると、それが生活

だから特に休息といふ必要がなくなる。それで一面生活に教育的要素が瀾漫して行くといふことがないでもないと考へられます。三年生以上になるとそうしたことに耐へ得ますが、低學年のあの小さい子どもにはどうなんでせう。

淺黄 それはあり得る事です。つまり、生活指導の指導が、日々の學校生活の始終全部を先生が引きづつて居たり、押し上げてゐることになると子供は常に張り切つて居りますので、本當に自分の自由意志でない生活、引きづられた生活になる恐れがあると仰るのでせう。

倉橋 えいさうです。私から見ると、幼兒として原始的な生活で來た子供にはプリンシプルから來た生活は、謂はば張りが故意すぎる恐れがあると思ふのです。遊ぶ間がないと云つた子供は、或は怠け者だつたかも知れませんが。

淺黄 作業主義の低學年教育では、私どもは、作

業と遊戯の二大形式に考へて居りますが。

倉橋 教育がちつとも入つてゐない作業、それ自身から出た作業なら、そんなに勞れない。

田原 一日の中、凡一時間を遊戯の時間においてございます。氣分の轉換、開放及び休憩等のための時間に。けれども作業に興味がのりますと、終り迄の時間をつゞけて作業をして居ることがございますして此方で勞れるだらうと心配いたすことがあります。

倉橋 その時に、指導が高調した生活は面白いでせうが、むりに飲ませると幾らでも酔つばらふ迄飲む、しかしその時は水をのむ「淡さ」の缺乏がありはしますまいか。幼稚園での子供は被指導意識でやつたつて受けつけやしません。濱から取りたての魚のようにはねてくね。小學校になれば子供だつて、料理人は苦勞してのだらうと思ふでせうから、さうは、はねませんよ。

及川 今一年級は何時に始つて何んな工合ですの。

金成 八時に朝禮がありまして、一寸運動場でお遊びしてお教室に入つて仕事をして、又お遊び致します。みんな一緒の時も、自由の時もございしますが。十時半にはお歸りです。

及川 お歸りがすぐですものね。遊ぶ時間もありますせんわ。

金成 幼稚園に比べて仕事の時間が多いでせうね。

倉橋 兎に角、今日ではもう餘り注文したい事はないでせう。昔はくろがねの屏がありましたよ、幼稚園と小學校教育との間に。

金成 それからお仕事のお仕舞ですが、續けたい子、終りたい子もございしますが、強ひて一緒にやめさせようとは致しません。

堀 一つには、小學校にはベルが鳴るので子供は

束縛を覚えるだらう。しかし、外から来る子供はあのベルが無ければ學校の様な氣がしない。

倉橋　むしろベルがある事が愉快なんでせう。

金成　朝など。

及川　後れて来ませんか。幼稚園では揃ひませんから。

堀　餘り後れないね。

金成　今朝あたりはベルが鳴つておならびする時、幼稚園から来たのが四五人で、外に遊びに行きましたのが後れて来ました。

倉橋　それでね、先日も父兄に「幼稚園は斯んなに自由ですから朝だけはさちんとして下さい」と申しました。遅刻にするといふ譯ではありませんがね。

堀　一年生のその遅刻は来て居て遊びに行つたのでせう。それがよそからの子供と違ふ。

倉橋　幼稚園の朝は、この頃如何ですか。

新庄　ちやんと参ります。

倉橋　幼稚園の遅刻は親の遅刻ですからやかましく云つてもよろしいですね。只始まりの時間をあの平齡の子供に適ふようにきめておささへすれば。……では、此の邊で。何うもありがとう御座いました。(神原記)

